

さくら ほっと NEWS

特集

▶ **大学病院での薬剤師の役割** P.2・3

お知らせ

▶ **重症部門専門・認定看護師の紹介**
▶ **初診料加算額のご案内**
▶ **NICU・GCU増床のためのご寄附のお願い** P.4

理念

当病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成します

基本方針

- ・大学病院として、高度先進医療を提供します
- ・高度情報化を進め、安全で開かれた医療を提供します
- ・医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します
- ・名古屋都市圏の中核医療機関として、市民の健康と福祉を増進します

名古屋市立大学病院

患者さんの権利等

患者さんの権利

良質の医療を受ける権利
情報を知る権利
選択の自由の権利
自己決定の権利
機密保持の権利

患者さんは、人格や意思が尊重され、質の高い医療を平等かつ安全に受けることができます。
患者さんは、ご自身の病気や治療について知ることができるとともに、十分にわかりやすい説明を受けることができます。
患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身で選択し変更することができます。また、他の医師の意見を求めることもできます。
患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身の意思に基づいて決定することができます。
患者さんのプライバシーは十分に尊重されるとともに、個人情報には厳正に保護されます。

患者さんの責務

- 病院の規則や治療上必要な指示・助言を守って療養してください。
- ご自身の健康状態について、できるだけ正確に伝えてください。
- 説明を受けても十分に理解できない場合は、納得できるまでお尋ねください。
- 他の患者さんの権利を尊重し、暴言・暴力等の医療の妨げとなるような行為は行わないでください。
- 医療費の自己負担分は必ずお支払いください。

お願い

- 大学病院として、医療スタッフを育成するため教育実習を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

vol.28
2014年6月

大学病院での薬剤師の役割

～患者さんにとって最適な薬物治療の実現をめざして～

皆さんは病院の中で薬剤師の果たしている役割をご存知でしょうか？

当院の薬剤師は薬局だけでなく、病棟や外来化学療法室、入院支援センターなど多くの場所で仕事をしています。それは私たち病院薬剤師の使命である「患者さんに最適な薬物治療を提供する」ことを実現するためです。

くすりをを使った治療の各場面において薬剤師がどんな役割を果たしているか、知っていただければ幸いです。

医師による診断

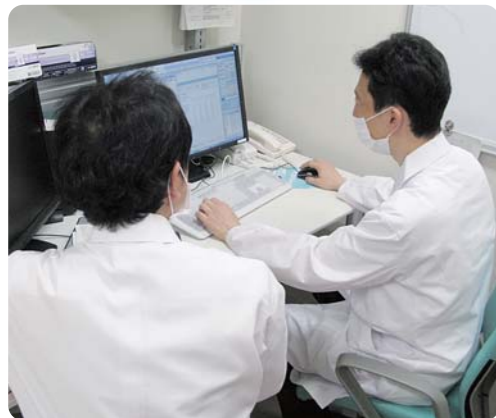
医薬品適正使用サイクル

ステップ ① 処方への提案

医師がこれまでの情報をもとに診断を行い、個々の患者さんに最適な処方を行います。薬剤師は、こういった場合にどのようなくすりか最も効果があるのか、実際の患者さんを対象に調査された研究内容などをもとに、よりよい治療の提案を行います。



薬剤部では薬に関するいろいろな情報を管理しています



薬剤師は医師との協議の中で治療の提案を行います

ステップ ② 薬の調剤

医師の処方にもとづいて、薬剤師が正確な調剤を行います。調剤のミス回避のためにダブルチェックを徹底しています。また処方内容に応じて医師に確認や協議を行います。



病棟で使う注射薬も薬剤師がセットします



処方の確認のために、カルテの記録もチェックします



抗がん剤については、安全な環境で薬剤師が調剤しています

ステップ ③ 薬の正しい理解と使用へのサポート

患者さん自身が「病気とくすりの関係」や「くすりに関する知識*」を正しく持ち、適切に使用できるようになることが大切です。薬剤師はすべての患者さんにくすりの使い方を説明し、正しく使えているかの確認も行います。

*くすりを飲む時の注意点や副作用が起きた時の対応など



必要に応じて繰り返し指導を行います



入院患者さんの薬の使用状況の確認には、看護師さんとの協議が欠かせません

ステップ ④ 薬の効果および副作用の評価

くすりの効き方には個人差がありますので、使い始めてからの評価は大変重要です。患者さん自身が効果や副作用に関心を持ち、医師や薬剤師に正しく伝えることが基本ですが、薬剤師も患者さんとの面談を通じて、薬の効果や副作用について評価を行っています。



検査データも大切ですが、患者さんとの会話から問題点が見つかることが多いです



おくすり手帳は、薬の記録だけでなく、効果や副作用の記録にも活用できます

ステップ ⑤ 次の処方へのフィードバック

薬剤師は、評価した情報に基づいてくすりの種類や量の変更を医師に提案するなど、他の医療者と連携して患者さんの薬物治療をよりよいものにする責任があります。また、特に重要な情報については、学会等での情報発信を行っています。



入院時の持参薬の内容は、すぐに医師や看護師に伝えられ、入院後の方針が決まります



学会で情報発信を行うことは、大学病院の薬剤師の重要な役割です

重症部門専門・認定看護師の紹介

私たち急性・重症患者看護専門看護師、集中ケア認定看護師の役割は、重篤な患者が早期に回復できるように援助すること、患者が重篤な状態に陥らないように援助することなどです。このため、集中治療室(ICU)や心疾患治療室で治療を受ける患者や家族へのケア実践、スタッフの教育・指導、ケアプログラムの作成などの活動を行っています。また、呼吸・循環のケアを得意とし、一般病棟で呼吸・循環に問題のある患者のケアについて相談に応じ、患者に適したケア方法の提案、循環・呼吸のフィジカルアセスメントについて勉強会を開催するなどの活動も行っています。



鈴木伴枝師長 丸谷幸子主任 石井房世主任

当院では、RRS(rapid response system)が昨年度より発足しました。これは院内の急激に重篤化する患者をいち早く察知し、対処することで予期せぬ死を防ぐことを目的としたシステムで、ICU医師・看護師が活動しています。

海外のさまざまな調査において、全入院患者の10%に予期せぬできごとが起こり、さらにその4分の1程度が死亡ないしは永続的な障害を残していることが明らかになりました。米国ではこれを受けて医療安全のための全国キャンペーン「10万人の命を救え！キャンペーン」を行い、その活動の一つとしてRRSの導入により院内心停止の減少を目指した対策が推進されてきました。日本においては「医療安全全国共同行動」が同様の活動を行っており、その9つの行動目標の一つ「急変時の迅速対応」がRRSの構築を推奨しています。

私たち専門・認定看護師はRRS普及のために手順作成やシステムの紹介などを行ってきました。今後さらなる普及を進めるために、ICU医師と協働し、広報活動の継続、ラウンド体制の構築、フィードバックの充実などを実践していきたいと考えています。

看護部 丸谷幸子

初診料加算額のご案内

名古屋市立大学病院では、一般の病院では実施することが難しい手術や、最先端の高度な医療を必要とする患者さんをより多く治療することをめざすとともに、地域の医療機関との機能分担を推進するため、初診料加算額を以下の通り段階的に改定しています。ご理解とご協力をお願いいたします。

平成26年
4月1日～9月30日まで

3,000円(税別)

平成26年
10月1日以降

4,000円(税別)

ほかの医療機関からの紹介状をお持ちの方は初診料加算額をご負担いただく必要はありません。
是非紹介状をお持ちください！

医事課

NICU・GCU増床のためのご寄附のお願い

名古屋市立大学病院では、新生児医療のさらなる充実をめざし、NICU(新生児特定集中治療室)・GCU(新生児治療回復室)を各3床増床することにいたしました。

NICU・GCUと産科婦人科との連携により、胎児期から出産後まで継続して高度な医療を提供してまいります。この趣意をご理解いただき、ご寄附のお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます。

ご寄附の方法

外来・病棟各フロアに配置しております“NICU・GCU増床のためのご寄附のお願い”に添付の振込依頼書にてお近くの金融機関でお払い込みください。

※直接、当院にお越しいただける方は、総合案内から“事務課 さくら基金担当者”をお呼びください。

なお、病院全体の振興のためのご寄付についても、引き続きお力添えをお願いいたします。詳細は、外来・病棟各フロアに配置しております“さくら基金のご案内”をご覧ください。

ご不明な点、ご相談等ございましたら、事務課さくら基金担当(052-858-7105)までご連絡なくお問い合わせください。



事務課

名古屋市大病院

ホームページの検索方法の案内「名古屋市大病院」で検索

検索

クリック

<http://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/>



このQRコードをケータイで読みとると簡単にホームページが見られます。

名古屋市大病院さくらほっとNEWSへのご意見・感想をお寄せください。E-mailは hotnews@med.nagoya-cu.ac.jp まで！